



Bonjour à tous. 受講生のみなさまこんにちは。
2018 年冬学期がスタートしました！アンスティチュ・フランセ日本の通信講座をご利用いただきありがとうございます。寒い日々が続きますが、体調管理に気をつけながら、気持ちよく 2018 年のフランス語学習を進めていきましょう！
添削答案をご返却する際に、毎回同封するこの Lettre de l'Institut では、事務局からのお知らせのほかフランス語学習に関する様々な情報を提供いたします！今回は今学期最初の Lettre にて、主に通信講座のサービス内容についてご案内いたします。お手元の「受講生ガイド」とあわせてご覧ください。今学期もどうぞよろしくお願いいたします！

■ Infos pratiques 1 - 通信講座の学習サポートについて

ぜひ通信講座の学習サポートを活用してみましょう。質問をしたり、フランス語で話してみることで、受講コースの課題と合わせ、総合力をつけていくためのサポートです！

▶ 1. 質問

答案の添削後、模範解答を熟読しても理解できないところがある場合は、下記の方法で質問ができます。疑問点をそのままにすることなく、しっかり質問をすることで、フランス語の理解を深めていきましょう！

● 質問の仕方

- メール : soutien@institutfrancais.jp
- FAX : 03-5206-2861
- 答案に同封



※ 答案用紙とは別の用紙 (A4 用紙) に質問事項をまとめて FAX にて送信、または、答案と合わせて郵送、にてお送りください。 受講生コード、コースコード、お名前をお忘れなく！

【ご注意】答案用紙に直接質問を記入、またはメモ用紙や付箋を答案に貼ってのご質問にはお答えできませんのでご注意ください。内容は通信コースに関する質問に限ります。
まずは添削された答案と模範解答に目を通し、疑問点を整理してみましょう！

▶ 2. テレフォンサポート

「どのように利用すればいいの？」「フランス人の先生といきなり話すのは緊張…」など、初めてご利用になる方は不安に感じられるかもしれませんが、とにかくチャレンジしてみることで、フランス語のコミュニケーション能力をのばしていきましょう！筆記課題に取り組むだけでなく、フランス語で話してみる絶好のチャンスです！

- テレフォンサポートは予約制です。教材に入っている テレフォンサポートスケジュール表 をご覧いただき、お電話で (03-5206-2860) ご予約ください。1 回ずつご予約を承ります。予約の回が終わったら、次のご予約のお電話をお願いいたします。
- 2 つ以上のコースを同時に受講されている方は、コースの数だけご予約をおとりいただけます。
- スカイプでの受講希望の方はご予約の際にお知らせ下さい。
(予約日時までに Skype ID: tsushin01 へコンタクト申請が必要です。)

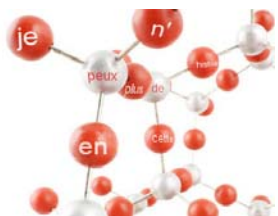
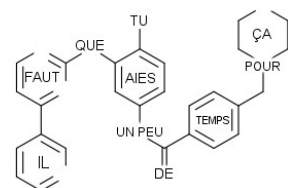


■ Infos pratiques 2 - 添削答案返却のスケジュールについて

通信講座お申し込み日により第 1 回目の答案提出日に間に合わず第 2 回目のもので合わせてご提出いただいた答案 (5 課題のコースは Devoir1、10 課題のコースは Devoir1 と 2) については、第 2 回目のスケジュールに合わせて添削答案を発送させていただきます。



辞書に載っている単語と言語の関係は、原子と自然の関係に似ています。単語は原子と同じように、すべてのもととなる基本要素です。自然界で、原子は決して単体では存在していません。ほかの原子と結びついて分子となり、その分子が生命体を構成します。単語も同じです。単語はけっして孤立しておらず、お互いにひきつけあったり、反発しあったり、決まった方法で配列されたりします。



「成句」と呼ばれるこうした単語の組み合わせが、言語の本当の構成要素です。話すときに役立つのはこうした成句なのです。言語を学ぶということは「コトバの化学」を学ぶことにほかなりません。

このコラムでは、フランス語でよく使われることばの組み合わせを見ていきましょう。ひとつひとつの単語は皆さんがよく知っているものですが、その組み合わせには初めて目にするものがあるかもしれませんね。

2018年の初回では、形容詞を伴う3つの表現を学びましょう。

表現	例文	例文の訳	*
<i>se croire</i>	Il se croit très malin.	彼は自分のことをとても利口だと思っている。	<input type="checkbox"/>
<i>faire le</i>	Il fait le fier depuis qu'il a gagné le match.	彼は試合に勝ってから堂々としている。	<input type="checkbox"/>
<i>passer pour</i>	Je n'ose pas répondre, j'ai peur de passer pour un idiot...	返事をする勇気がない、愚かだと思われるのが怖いから...	<input type="checkbox"/>

* これらの言い回しを知っていたかどうか、自分でチェックしてみましょう。

● その他の様々な例文:

se croire

Elle se mêle de tout, elle se croit indispensable.	彼女は全てにおいて口を出すから、自分のことを必要不可欠な人だと思っているようだ。
Il s'est cru très drôle mais sa plaisanterie a mis tout le monde mal à l'aise.	彼はとても面白いと思っていたようだけれど、彼の冗談は皆を不愉快にさせた。
Il se croyait fort aux échecs, il a été vexé de perdre la partie.	彼はチェスが上手だと信じていたので、勝負に負けて気を悪くした。

faire le

Ne fais pas l'innocent, je sais très bien que c'est toi qui as fait le coup.	とぼけないでよ、君がやったのはよくわかっているよ。
Ne fais pas l'enfant, tu sais bien que c'est impossible.	子どもぶってもだめだよ、不可能だってもうよくわかるでしょ。
J'ai fait le brave, mais en fait j'étais terrorisé.	勇敢に立ち向かったけれど、実際は恐れおののいてしまった。

passer pour

Je n'ose pas la complimenter de peur de passer pour un flatteur.	お世辞のうまい人と思われるのがイヤで彼女を褒めるのをためらっている。
Je ne le connais pas personnellement mais il passe pour quelqu'un de très compétent.	彼のことをよく知らないけれど、とても能力があるとみなされている。
Il passe pour un incapable depuis qu'il a fait échouer le projet.	彼がそのプロジェクトを失敗させてからというもの、役に立たない人だと思われる。

● チャレンジしてみましょう!

I. 適切な文になるように、右側と左側をつないでみましょう:

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1 Il passe pour un imbécile | a pour faire rire sa petite sœur. |
| 2 Il se croit très intelligent | b depuis qu'il a fait cette gaffe. |
| 3 Il aime bien faire l'idiot | c mais il ne comprend rien à la situation. |

II. 空欄に適切な単語を入れてみましょう:

- Elle _____ la meilleure écrivaine de sa génération.
- Ce type est insupportable, il _____ meilleur que tout le monde.
- Depuis que je suis son chef il _____ gentil avec moi.

En tant que professeur, on **fait** parfois l'idiot pour amuser sa classe, au risque de **passer pour** quelqu'un de pas sérieux... Mais ce n'est pas grave, l'essentiel est de ne jamais **se croire** plus malin qu'on est vraiment, vous ne trouvez pas ?

解答: I. 1: b 2: c 3: a II. 1: passe pour 2: se croit 3: fait le